

平成22年2月26日

保護者の皆様へ

美咲町立旭小学校長 岡田良男

平成21年度の学校評価（保護者アンケート）のまとめと
次年度への改善及び研究

平素から、本校教育諸活動の推進にご支援・ご協力を賜り深く感謝いたします。

さて、昨年12月の大変お忙しい時期に学校評価の保護者アンケートを依頼いたしましたところ、68名の保護者の皆さんからご回答をいただき大変ありがとうございました。

保護者の皆さんお一人お一人の評価結果を通じまして、本校への関心の高さや期待の大きさに対し「わかる喜びや学ぶ楽しさを実感できる学校づくり」や「連携や協力・支援による開かれた学校づくり」の実現等を目指して、緊張感のある学校経営に努めなければならないことをあらためて感じました。

アンケートを集計し、C評価（あまりできていない）が多くあった項目や保護者の皆さんからいただきましたご意見につきましては、平成22年度の教育課程編成等に生かして参ります。

本校では、「知」「徳」「体」のバランスの取れた教育の推進を通じまして、家庭や地域との協働で子どもが生き生きと学ぶ、躍進する学校経営に努めて参りますので今後ともご支援・ご協力をいただきますようお願いいたします。

平成22年度の教育課程編成における主な改善と研究

1 教育課程編成における主な内容

- (1) 全学年の国語科、算数科で標準授業時間数を上回る時間数の配当で、基礎・基本の定着と繰り返し学習・発展学習の充実
- (2) 放課後学習支援（算数）、夏季学習支援（国語、算数）の実施で、基礎・基本の定着と学習習慣の定着
- (3) 専門性のある教員や得意教科のある教員による指導で授業改善・授業づくりの充実（小中連携）
- (4) 朝学習の読書タイム、読書週間の計画・実施・運営の工夫・改善と国語科の授業実践で読書活動の充実
- (5) 低・中・高学年別による学習規律の徹底と学習習慣の定着
- (6) 一人一鉢菊いっぱい活動（人との関わりで豊かな心を育成）
- (7) 地域の人々や自然・文化とのふれあい、ボランティア活動（地域学習、小中連携）
- (8) 朝遊びの時間の創設
- (9) 健康や食に関する指導（学校医、養護教諭等の支援）
- (10) 水泳教室、マラソン大会、スキー教室、縄跳び大会
- (11) 夏季休業日の短縮

2 平成22年度の研究

- (1) 旭小中学校一貫教育の研究（福武教育文化振興財団研究助成）
- (2) 教師の指導力を支えるシステムづくりの研究（学校支援地域本部事業）
- (3) 国語科を通じた授業づくりの研究（校内研究）

平成21年度 学校評価（保護者アンケート）のまとめ

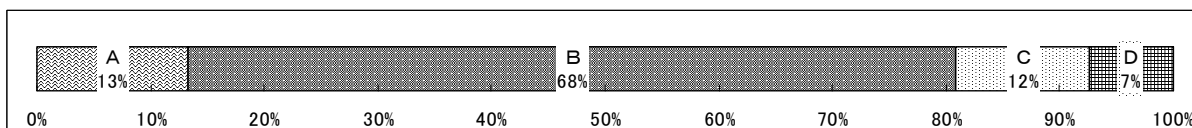
美咲町立旭小学校

<A:よくできている B:ふつう C:あまりできていない D:よくわからない>

【回収率 68/93 = 73.1 %】

情報・地域連携

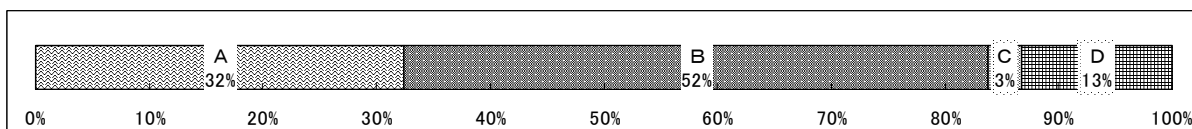
1. 学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。



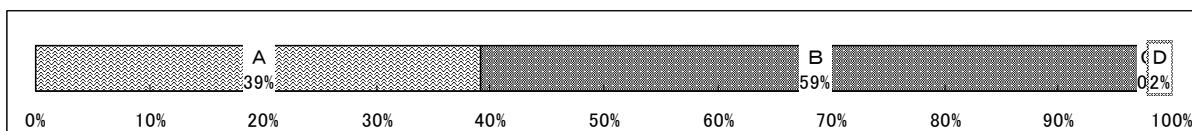
◆C評価をつけた理由

- ・学校のことがよくわからないため、Cの評価をさせていただきました。

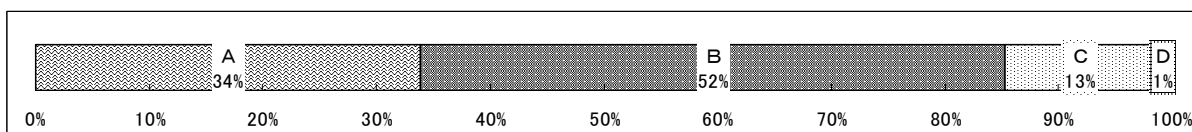
2. 学校は、広報やホームページ等で教育活動等の情報を伝えている。



3. 「あゆみ」は、子どもの学習の様子や生活態度についてわかりやすく表現されている。



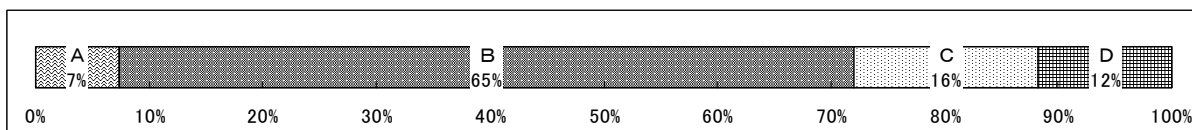
4. 学習内容や子どもの様子などを懇談や通信でよく知ることができる。



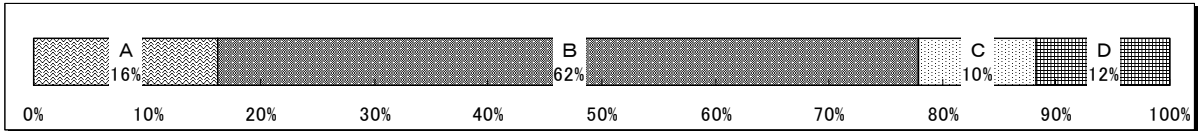
◆C評価をつけた理由

- ・クラスに問題があり、懇談に行けば知ることができるが、通信でもあまり伝わってこない。
- ・学級通信を全く家に持って帰らないので学校のことが分かりません。

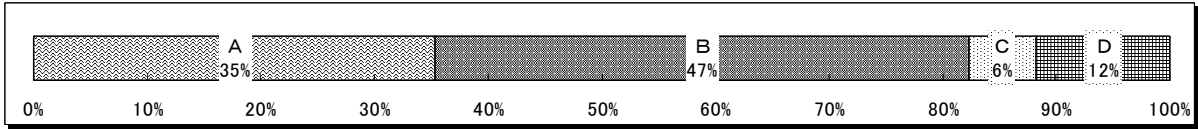
5. 学校は保護者・地域の願いに応えている。



6. 学校は、PTAと連携して、児童の課題に取り組んでいる。



7. 学校は、支援ボランティアを生かして教育活動を充実させている。



◆C評価をつけた理由

- ・ボランティアに頼むより、まずは親（PTA）に頼むべきではないでしょうか・・・
- ・ボランティアが入りすぎている。

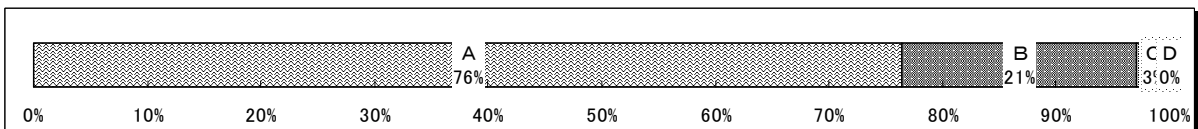
22年度に向けて

来年度も引き続き、教育方針や教育活動について、学校だよりやホームページを通じて情報を幅広く公開していくとともに、学級通信を定期的に配布して学級の様子がよく伝わるように努力していきます。

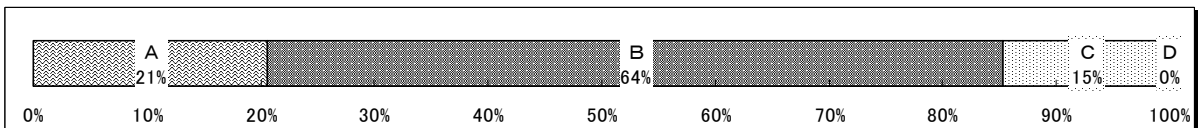
学習支援ボランティアについては、本校の特色ある学校教育として、効果的に支援活動がいただけるよう支援内容をさらに検討し精選していきたいと考えています。

自ら学び考える

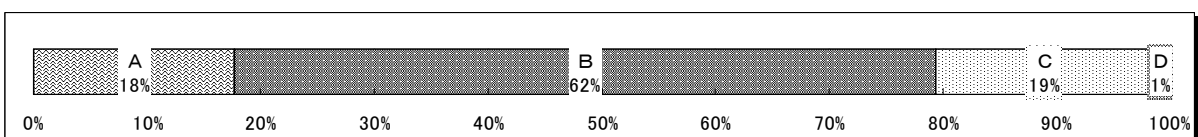
8. 子どもは、運動会や宿泊行事などの学校行事を楽しみにし、積極的に参加している。



9. 子どもは、読み・書き・計算などの基礎学力が身についている。



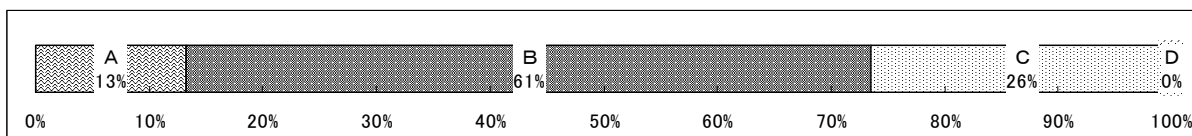
10. 子どもは、授業が楽しいと言っている。



◆C評価をつけた理由

- ・授業を妨げる態度をとる子がいるという話を聞くことがある。少し不安を感じる。
- ・先生の授業が教科書どおりでおもしろくない。

11. 子どもは、家庭学習にすすんで取り組んでいる。



◆C評価をつけた理由

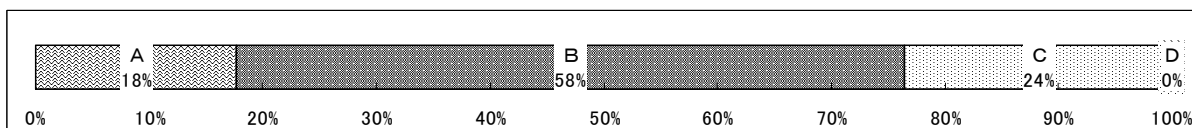
- ・あまりできていない。できていれば、大げさな○やコメントがあればやりがいを感じるのでは・・・

22年度に向けて

学力向上に向けて、学習規律を定着させるとともに教材教具の工夫を行い、丁寧で分かりやすい授業を進めていくように心がけていきます。また、家庭学習については、学年に合った適切な内容を与え、意欲をもって取り組めるように工夫していきます。

人とかわかる

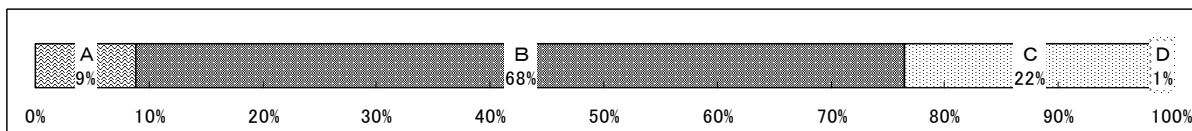
12. 子どもは、あいさつをしようと努めている。(はい、ありがとう、ごめんなさいを含む)



◆C評価をつけた理由

- ・ほとんどの子ができていない。あいさつ日本一とはほど遠い姿。見直しが必要だと思う。
- ・自分が小学生だった頃と比べるとできていないと感じるから。
- ・はずかしくてあいさつができないのかも・・・
- ・まだまだ元気よくあいさつできていない。
- ・今の旭の子どもたちは、あいさつができなくなってしまった。甘やかすばかりでなく、厳しいところと優しいところの区別をつけてほしい。
- ・挨拶が他校に比べてできていない。挨拶は基本です。家庭でもしっかり指導したいですが、学校でも力を入れていただきたい。

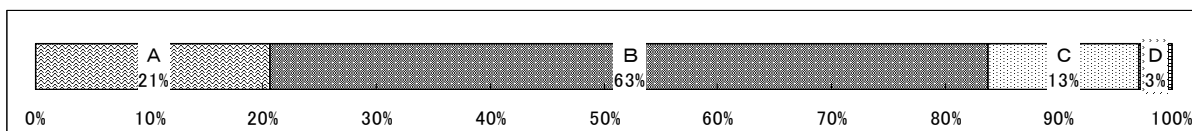
13. 子どもは、人の話を聴くことができる。



◆C評価をつけた理由

- ・話に集中できていないためかも・・・

14. 子どもは、相手の気持ちを気遣い、思いやる心が育ってきている。



- ・おちつきがなく、冷静さに欠けることがある。人とかかわりが心配になることがある。

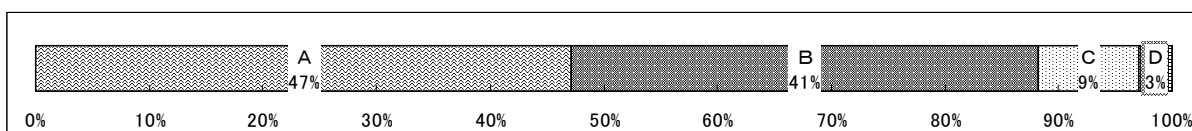
22年度に向けて

あいさつについては、取り組みは進めているもののマンネリ化している面もあり、効果は今ひとつの状態でした。来年度は、毎日あいさつ運動をするのではなく、「強化週間」や「あいさつの日」などを設定し、その期間で集中して取り組むようにしていきたいと考えています。

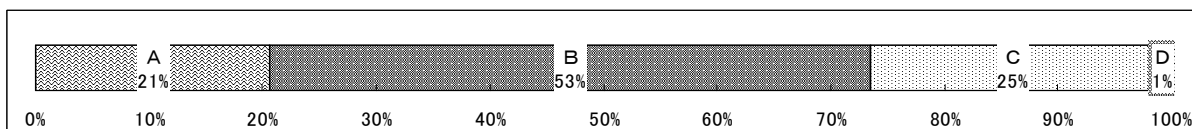
4, 5月の年度当初は、1時間目の開始を20分程度遅らせ、朝遊びの時間を設定します。そうした活動の中で、担任と子ども、また、子ども同士の信頼関係と集団の力を高め、落ち着いた学習態度と思いやる心が持てる学級経営を進めていきたいと考えています。また、こうした朝遊びについては、体力づくりや朝の目覚めという点からも有効であるとと考えています。

体力づくり

15. 子どもは、外で友だちとよく遊んでいると言っている。



16. 子どもは、目標をもって、体力づくりに励んでいる。



◆C評価をつけた理由

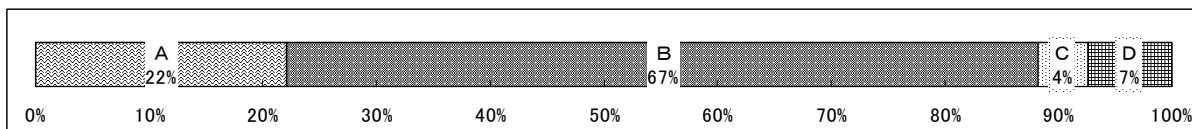
- ・学年に応じた体力づくりの目標値を決めて子どもに目標をもたせた方がいいと思います。
- ・目標とは？

22年度に向けて

体力づくりの個々の目標については、水泳や縄跳び、そしてマラソンなどでは、がんばりカード等を利用して、目標設定しながら活動を進めているところです。

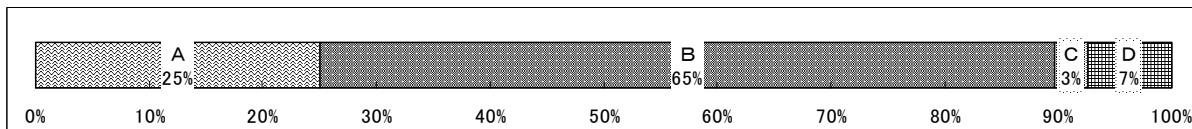
また、来年度からの取り組みで、朝遊びを取り入れるように計画しています。上記「人とかかわる」の項をご参照ください。

17. 学校は、なかよし班活動の充実に努めている。

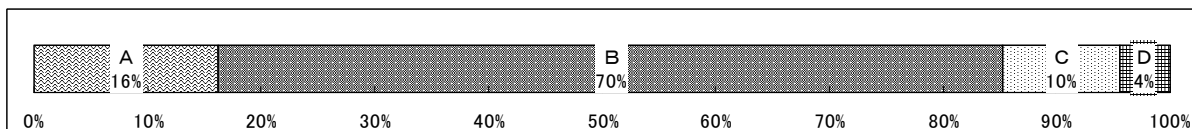


危機管理・生徒指導

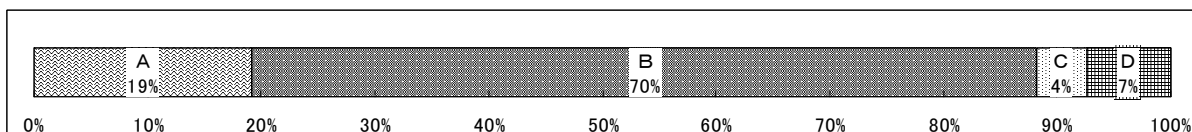
18. 学校は、施設設備・登下校の安全などの事故防止に配慮している。



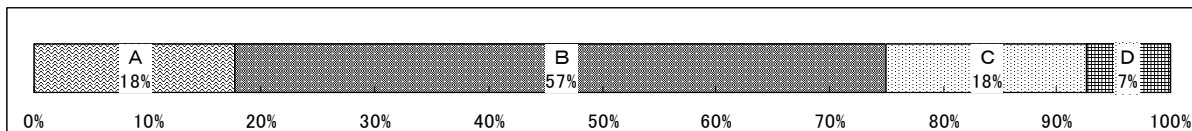
19. 学校は、連絡したことや相談事などに適切に対応している。



20. 学校は、子どもや家庭のことについてプライバシーを守っている。



21. 学校は、子どもの間違っただ行動等を適切に指導している。



◆C評価をつけた理由

- ・いけないことは厳しくいけない、良いことはきちんと褒めるようにしてほしい。
- ・叱るときは本気で叱らないと子どもたちが言うことを聞かないのでは・・・
- ・授業中、特定の子がふざけすぎ、しゃべりすぎ、でもあまり怒らない。すごくじゃまをしていると思う。このことが当たり前になっていると思う。授業の邪魔をする子は別の部屋にしてもらいたい。

22年度に向けて

適切な指導については、学級経営がしっかりしていなければ、効果があがりません。「人とかかわる」の項で述べたように学級経営を充実させながら、適切な対応をしていきたいと考えています。また、指導の効果的なタイミングや、褒めることと叱ることのバランスも考えながら指導していきたいと考えています。こうした生徒指導については、全職員共通理解のもと、全力をあげて取り組んでまいります。

学校教育をよりよいものにするために……

- ・子どもが先生の注意が聞けないことがあるようですが、これは、親が先生や学校の不満を子どもの前で話をしているからではないでしょうか。我が家では、子どもの前で、学校、先生、家族、兄弟たちの不満は言わないようにしている。また、子どもが友達の悪口を言ってきたら、話は聞くが、友達を否定するようなことは言わないようにしている。
- ・今頃は、家庭のしつけが問われている。学校側から「家庭できちんとしつけてください」と強く言うべき。

学校の考え

家庭でのしつけ、教育については、大変お世話になっています。こうしたことは、学校での学習規律や学習態度に直結するものも多くあると思いますので、学校、家庭が共に手を取り合い、連絡を密にしながら進めていかなければならないと感じています。今後ともご協力、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

- ・休んだ日の授業を補習にかける。
- ・その時出した宿題は、次の日には必ず提出させて最後まで見て欲しい。
- ・授業中子どもが集中できるように、もう少し厳しくした方が良くと思う。
- ・教師と子どもたちの関係をもっと深めるように努力してもらいたい。
- ・他の時間での子どもの様子を見たり、一緒に遊んだりするなどもっと関わってもらいたい。
- ・子どもたちの状態を専門家に相談し、きちんとした指導をしていかないと教室がまとまらないと思います。(クラスではなく、個人の状態です)

学校の考え

教師と子ども、子ども同士の望ましい人間関係づくりが今後ますます重要になってくると思っております。「人とかかわる」の項で述べましたように、朝遊びの活動のメリットを十分生かして学級経営、学校経営に全力で取り組んでいきたいと思っております。

また、専門家への相談については、職員研修の中で進めていく予定ですが、PTA対象の特別支援教育についての講演会を開催できたらいいなと考えているところです。

- ・先生方の熱心なご指導により、学校全体が少しずつ落ち着いてきているように思います。いつもありがとうございます。
- ・読書の時間の確保がもっとできないか。読書を習慣づけたい。

学校の考え

今年度も家庭読書週間を年3回設定し、読書の習慣を家族の人とともにつけていただけるように取り組んできましたが、もう一つ効果が現れていないように反省しています。

来年度は、この読書習慣について家庭にもっとPRを行うとともに、全校あげての取り組みができる体制をしっかりと整えて読書活動を深めていきたいと思っております。

終わりに

保護者の皆様からいただいた貴重なご意見について、全職員で検討し、以上のように大まかに学校の考えをまとめてみました。今後とも学校に対して忌憚無きご意見をいただき、子どもたちの教育につなげていくことができますよう、よろしくお願いいたします。

ご協力ありがとうございました。

平成22年度 学校経営目標
 家庭や地域との協働で子どもが生き生きと学ぶ躍進する学校経営に努める

